

平成30年度 学校自己評価システムシート(県立杉戸高等学校)

目指す学校像 部活動の盛んな進学校として生徒の自己肯定感を高め、社会に貢献する人材を育成する学校

重点目標 1 進路実現に向けた学力向上、授業改善の効果的な取組を推進する
2 部活動や地域活動をととして、杉高生としてのプライドを身につけさせる取組を推進する
3 中学校や地域関係者に、本校への理解を深めてもらう取組を推進する

達成度 A ほぼ達成(8割以上)
B 概ね達成(6割以上)
C 変化の兆し(4割以上)
D 不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者 学校関係者 6名
事務局(教職員) 9名
生徒 3名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価
年度目標 年度評価(2月1日現在)
番号 現状と課題 評価項目 具体的方策 方策の評価指標 評価項目の達成状況 達成度 次年度への課題と改善策

学校関係者評価
実施日(平成31年2月12日)
・家庭学習時間が少ないのは中学校も同様であり、生徒が目的意識や課題意識を持って授業に取り組める工夫が必要である。
・授業を受ける心構えを醸成していかなければならない。
・今後は表現する力をいかに身につけていくが必要である。